

# 地域医療支援病院業務報告要旨

## I 概要

医療機関コード	1311971001					
病院名	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立豊島病院					
所在地	173-0015 東京都板橋区栄町3-3-1					
管理者氏名	院長 畑 明宏					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	386床	0床	20床	32床	0床	438床
承認年月日	令和4年7月1日					

## II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

### 1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	イ 紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	① / (② - (③ + ④ + ⑤))	73.9 %
※患者数は延べ人数	① 紹介患者数	10,603 人
	② 初診患者数	20,908 人
	③ 地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	3,930 人
	④ 休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	2,636 人
	⑤ 健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0 人
逆紹介率	⑦ / ② - (③ + ④ + ⑤)	83.2 %
※患者数は延べ人数	⑦ 逆紹介患者数	11,930 人

### 2 共同利用の実績

#### (1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	地域連携支援グループ
登録医療機関数	1,024 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	1,024 件

#### (2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	1020 件
共同診療件数	36 件
高額医療機器共同利用件数	984 件
共同利用病床数	411 床
共同利用病床利用率	63.2 %
共同利用可能な医療機器	MRI、CT、RI、DEXA
共同利用可能な施設等	病棟、心臓カテーテル室、医科・歯科外来処置室、手術室、放射線検査機器、図書室

### 3 救急医療の提供の実績

#### (1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	4,946 ( 3,840 )
救急搬送以外の救急患者数	5,001 ( 3,187 )
合計 (うち初診患者数)	9,947 ( 7,027 )

※括弧内は、初診救急患者数

#### (2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	MRI、CT、RI (24時間体制)
優先使用可能な病床数	HCU 6床 床
専用病床数	ICU 6床 床

#### (3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	1人	5人
うち専従数	1人	5人
看護師数 (准看護師含む)	0人	0人
うち専従数	0人	0人
薬剤師数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
診療放射線技師数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床検査技師数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床工学技士数	0人	0人
うち専従数	0人	0人
上記以外の従事者数	0人	0人

#### (4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----

### 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

#### (1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	臨床研修委員会
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	30 人
研修施設	研修室 (主な設備) テーブル、イス、演台、映写機、音響システム、ホワイトボード、ノート型PC、テレビ、コピー機

#### (2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	28 回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	3 回
研修会延べ参加人数	967 人
うち院外のみ延べ参加人数	827 人
症例検討会の開催回数	6 回
医学・医療に関する講習会の開催回数	28 回
研修の内容	医療連携講演会、CPC、エコーハンズオンセミナー等 各診療科におけるトピックスや地域医療従事者の診療に役立つテーマを選定した講演、研修などを実施

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	副院長 福田 晃
管理担当者	医事課長 鹿内 弘実
診療に関する諸記録の管理方法	診療情報管理室にて、日別、患者別で管理している。電子カルテ上では、大分類・中分類に分けて管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	患者・地域サポートセンター：共同利用の実績、地域の医療従事者の資質の向上を図るための研究会の実績、紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿 医事課：救急医療提供の実績 診療情報管理室：閲覧実績

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長 畑 明宏	
閲覧担当者	医事課長 鹿内 弘実	
閲覧方法	電子カルテにて閲覧	
前年度の総閲覧件数		104 件
閲覧者別延べ件数	医師	104 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	公益財団法人 東京都結核予防会・監事	
委員数		20 人
	うち院外	19 人
委員会の開催回数		4 回
委員会の概要	<p>豊島病院における諸事業を審議し、関係諸機関との緊密な連携を図り、もって地域全体の医療供給体制の向上に資するため、豊島病院運営協議会を設置する。</p> <p>令和6年度 豊島病院運営協議会（第1回）令和6年6月25日開催</p> <p>(1) 令和5年度豊島病院運営状況について</p> <p>①令和5年度 決算概要 ②令和5年度 経営実績 ③令和5年度 患者実績 ④令和5年度 地域医療連携実績</p> <p>(2) 令和6年度豊島病院事業について</p> <p>①令和6年度 重点事項 ②令和6年度 地域医療連携事業計画</p> <p>(3) その他報告事項について</p> <p>①大規模災害訓練について ②産婦人科の準個室新設について ③放射線治療の緩和照射について ④ダビンチ手術の対応範囲拡充について</p> <p>令和6年度 豊島病院運営協議会（第2回）令和6年10月25日 書面開催</p> <p>(1) 令和6年度豊島病院運営状況について</p> <p>①令和6年度 経営実績 ②令和6年度 患者実績 ③令和6年度 地域医療連携実績</p> <p>(2) その他報告事項について</p> <p>①放射線科MRIの入れ替えについて</p> <p>令和6年度 豊島病院運営協議会（第3回）令和6年12月23日 書面開催</p> <p>(1) 令和6年度豊島病院運営状況について</p> <p>①令和6年度 経営実績 ②令和6年度 患者実績 ③令和6年度 地域医療連携実績</p> <p>(2) その他報告事項について</p> <p>①放射線科最新MRI装置の稼働について ②前回書面開催時のご意見について（回答）</p> <p>令和6年度 豊島病院運営協議会（第4回）令和7年3月26日 書面開催</p> <p>(1) 令和6年度豊島病院運営状況について</p> <p>①令和6年度 経営実績 ②令和6年度 患者実績 ③令和6年度 地域医療連携実績</p> <p>(2) その他報告事項について</p> <p>①アンケート結果について ②前回書面開催時のご意見について（回答）</p>	

8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者・地域サポートセンター	
主たる相談対応者	社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師・看護師・事務	
相談件数		92,882 件
相談の概要	<p>○受診援助 ○入院援助 ○退院援助 ○療養上の問題調整 ○経済問題調整 ○就労問題援助 ○住宅問題援助 ○教育問題援助 ○家族問題援助 ○日常生活援助 ○心理・情緒的援助 ○医療における人権擁護</p>	

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	公益財団法人日本医療機能評価機構 令和2年5月認定(3rdG: Ver.2.0 一般病院、副機能: 精神科及び緩和ケア)

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の方法、内容等の概要</li> </ul> 院外向けホームページ、豊島病院広報誌「パティオ」、X(旧Twitter)、連携医向け機関誌「連携としま」、連携向けメールマガジン、病院パンフレット、外来患者向け情報モニター、院内掲示板、連携医リスト配布 患者や地域住民向けに当院で実施している診療内容の情報発信

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	患者・地域サポートセンターの患者支援グループ、入退院支援グループが協働して実施している。各院内スタッフと連携しながら、「患者・家族」との面接を通して療養上の問題について整理し、心理的サポート・福祉サービス等の活用援助を行っている。また関係機関との退院前カンファレンス、退院前訪問を実施している。入院サポート導入により退院困難な患者さんを早期から介入し退院支援につなげている。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスの種類</li> </ul> 当院では脳卒中パス、大腿骨頸部骨折パスを使用。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み</li> </ul> 患者さんの治療過程に応じて、急性期・回復期・維持期・在宅療養に必要な情報を切れ目なく共有するために診療計画を作成している。診療にあたる各医療機関が予め診療内容を掲示・説明することにより患者さんが安心して治療を受けることができるように努めている。